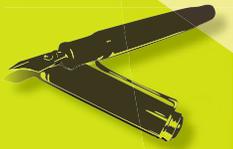




寮から。寒さの厳しいアイオワですが自然に囲まれ素晴らしい景色です

# 世界へ飛び出せ！ 明大生 —協定校留学日記—



Vol.11

アメリカ・アイオワ大学  
よく遊び、よく学べ！

国際日本学部4年  
石井 花歩

た。キャンパス内には多くの棟にパソコン室と自習室が完備され、勉強するには最適の環境でした。履修生のほとんどが現地学生という授業もあり、ついていくのに大変な時もありました。しかし、授業の支援をする大学院生のティーチングアシスタントは熱意があり協力的で、授業でわからなかったことがあると丁寧に教えて下さいました。

私は主に、食物、宗教、映画などの文化的要因がアメリカ社会に与えた影響を考える授業を多く履修しました。一番興味深かった授業は、「Religion in America Today」という現代アメリカにおける宗教の在り方の授業です。グループワークで、Unitarian Universalismというキリスト教の一派について研究のために、学生らとインタビューに出かけたり、礼拝に参加したりしました。プレゼンテーションと音声動画の録音の提出が義務付けられ、作成のために毎日皆で21時近くまで作業したことも

ありました。一生懸命に準備したおかげで理解も深まり、長期間協力した仲間達とも仲良くなりました。また、授業以外の活動として、日本語・日本文化クラブに所属し、日本語を学習している生徒に日本語や日本文化を教えています。同じクラブの学生達と一緒に勉強したり、パーティーを開いたり、アメリカの大学生らしい生活も楽しめました。彼らが私の誕生日パーティーを開いてくれたことが、留学生活での一番の思い出となっています。留学生活を通して、自分が以前より積極的になったと感じています。最初は英語が通じなかったらどうしようと思っ

友達と韓国留学生と。世界各国から留学生がやってきます



イベント時のアイオワ大学のキャンパス

私が留学することを決意したのは、高校生の頃に海外研修で訪れたアメリカで、様々な人種の人々が、同じ国にいながら各々のルーツに沿った全く違った生活を送っているという事に興味を持ったことがきっかけです。アメリカという国、そして世界について知りたいという思いが強くなり、知識を得て英語力を向上させた上で、もう一度アメリカで文化や社会について勉強

したいと考えました。協定校留学を選択した理由は、できるだけ長い期間、英語、アメリカ文化、国際関係について勉強したかったから、そして親元を離れて生活し人間的に成長したいと思ったからです。アイオワ大学を選んだ理由は、アメリカ文化研究に関する授業の種類が豊富にあったからです。留学先での学習は想像していたよりずっと大変な生活でした。毎回授業の予習として何十ページもの文献を読まなければならないし、テストやレポート提出も頻繁にあります。空き時間はずっと勉強をして、期末試験期間は寮にこもってずっとテスト勉強をしています。

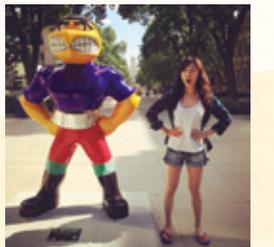
私は、2014年8月から2015年5月までの9ヶ月間、アメリカ・アイオワ州のアイオワ大学へ留学しました。アイオワ州はアメリカ中西部に位置し、冬の寒さが厳しいのが特徴です。雪の降る日も多く、気温がマイナス20度を下回ることも度々ありました。アイオワ大学はアイオワシティと

いう町に位置し、町のほとんどは大学の敷地です。周りをトウモロコシ畑に囲まれた自然豊かなキャンパスで約3万人の生徒が学生生活を送っています。日本人はほとんどおらず、留学生と大学院生を含め20人ほどでした。

## Profile

石井 花歩  
Kaho Ishii

国際日本学部国際日本学科4年  
1995年神奈川県横浜市出身



アイオワ大学のキャラクターと私